



DIOCESE OF HIROSHIMA

ALEXIS MITSURU SHIRAHAMA

DEI ET APOSTOLICAE SEDIS GRATIA EPISCOPUS HIROSHIMAENSIS

BISHOP'S OFFICE
4-42 NOBORI-CHO
NAKA-KU HIROSHIMA
〒730-0016 JAPAN

PROT.N.

2024年7月3日

広島教区のすべての小教区

主任司祭、および兄弟姉妹の皆さん

広島教区 司教 アレキシオ 白浜 満

小教区の「宣教ひろば」開催への感謝と報告書の配布について

+ 主の平和

七月に入り、すでに三〇度Cを超える真夏日が続いていますが、その後、お変わりなくお過ごしでしょうか。

広島教区においては、「ともに歩むあたたかさのある教会をめざそう」という長期の宣教司牧目標、および「あたたかさの源泉に立ち返る」（典礼活動）という中期の宣教司牧目標のもとに、2024年度から、新たな歩みが始まっています。その準備のため、各小教区においては今年2月～3月にかけて、自由な形式で、「宣教ひろば」（宣教推進懇談会）の開催を、お願いしていました。

小教区の「宣教ひろば」の開催と、その報告書の提出にご協力いただき、あらためて、心より感謝申し上げます。参考のために、各小教区から提出されていた報告書とそのまとめ、また、4月29日に開催した教区レベルの「宣教ひろば」の報告書（まとめ）を、平和の使徒推進本部事務局を通して、皆さんのもとにお届けします。各小教区における今後の宣教司牧活動のために、お役に立てていただければ幸いです。

すでにご存じのように、教皇フランシスコは、聖年（2025年）に向けてその準備をしていくため、今年（2024年）を「祈りの年」と宣言されました（2024年3月24日付「カトリック新聞」）。このことは、2024年度～2026年度の「あたたかさの源泉に立ち返る」（典礼活動）の中期目標にも関連しています。個人的な祈りは「あたたかさの源泉」である、神の愛といつくしみに立ち返り、その恵みをいただく典礼活動への霊的な準備となるものです。聖年（2025年）に向けた小教区の霊的な準備を、それぞれの小教区においても開始していただけますよう、重ねてお願い申し上げます。

皆さんの上に、神の豊かな祝福をお祈りいたします。

以上